



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月12日

上場会社名 共栄セキュリティーサービス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7058 URL https://www.kyoei-ss.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 我妻 文男
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 阿部 克巳 (TEL) 03-3511-7780
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	4,846	14.3	354	△0.4	396	8.0	256	7.0
2019年3月期第3四半期	4,241	—	355	—	367	—	239	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 254百万円(6.7%) 2019年3月期第3四半期 238百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	170.35	167.79
2019年3月期第3四半期	230.09	—

- (注) 1. 当社は、2018年3月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 当社は、2018年8月29日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。
 3. 2019年3月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったことから、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	4,533	3,703	81.7
2019年3月期	4,359	3,561	81.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 3,703百万円 2019年3月期 3,561百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	75.00	75.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,494	14.3	472	17.0	506	18.6	322	16.2	213.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	1,506,500株	2019年3月期	1,506,500株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	63株	2019年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	1,506,462株	2019年3月期3Q	1,042,000株

(注) 当社は、2018年8月29日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益は高い水準にあることなどから、景気は緩やかに回復した一方で、通商問題を巡る動向、中国経済の先行き等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響などにより、先行きは不透明な状況が続いております。

警備業界におきましては、放火殺人事件などの凶悪事件、台風や大雨などの自然災害を背景とした防犯・防災意識の高まり、そして国際競技大会の警備においても大きな期待が寄せられるなど、警備業に対する社会的な需要は増加傾向にあります。その一方で、警備業における人手不足は深刻であり、採用コストや人件費の増加等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは、首都圏及び関西を中心に新規に施設警備を受注、またハイウェイ・セキュリティも対応エリアを拡大するなど、着実に長期契約案件を獲得しております。また、9月から11月にかけて開催された国際競技大会の臨時警備を実施いたしました。当該臨時警備の受注量は、新規の長期契約案件の受注に注力したこともあり、当初予定していた計画値には及ばなかったものの、来期開催予定である国際競技大会の警備体制の構築・実施に向け、大きな足掛かりとなりました。こうした各種警備実施の結果、売上高は順調に推移しております。

損益面においては、低利益率案件の適正料金への改定、一部低利益率案件からの撤退にも取り組み、収益性は改善傾向にあります。一方で、販売費及び一般管理費において、2019年3月の新規上場に伴う増資により、前期末において一括計上していた法人事業税における外形標準課税部分が、当期は期初より計上されている影響により営業利益は前年同期比減となっております。なお、当該外形標準課税は、当第3四半期連結累計期間において35,162千円計上しており、実質的には前年同期比で増益となっております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、連結売上高は4,846,735千円となり、前年同期比605,669千円(14.3%)の増収、連結営業利益は354,373千円となり、前年同期比1,362千円(0.4%)の減益、連結経常利益は396,640千円となり、前年同期比29,473千円(8.0%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は256,623千円となり、前年同期比16,873千円(7.0%)の増益となりました。

当期は、施設警備の新規契約受注による長期契約案件の積み上げを引き続き進めてまいります。

なお、当社グループは警備事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ173,672千円増加し、4,533,057千円となりました。

これは主として、受取手形及び売掛金が142,851千円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ32,008千円増加し、829,885千円となりました。これは主として、未払金が50,740千円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ141,664千円増加し、3,703,172千円となり、自己資本比率は81.7%（前連結会計年度末は81.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年5月13日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、本決算短信に記載の見通しは当社グループの現在の予測に基づくものであり、外部環境の不確実性や変化に左右されるため、様々な要因により実際の業績と大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,553,807	2,583,985
受取手形及び売掛金	595,322	738,173
貯蔵品	1,940	8,527
その他	52,733	72,929
貸倒引当金	△301	△351
流動資産合計	3,203,500	3,403,264
固定資産		
有形固定資産	290,762	286,438
無形固定資産		
のれん	36,481	18,643
その他	17,947	13,528
無形固定資産合計	54,429	32,171
投資その他の資産		
投資不動産（純額）	545,072	540,122
その他	265,620	271,060
投資その他の資産合計	810,692	811,182
固定資産合計	1,155,884	1,129,793
資産合計	4,359,385	4,533,057

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,458	21,284
未払金	470,678	521,418
未払法人税等	125,927	86,898
その他	134,632	163,125
流動負債合計	756,695	792,727
固定負債		
資産除去債務	13,842	14,006
その他	27,339	23,151
固定負債合計	41,181	37,157
負債合計	797,877	829,885
純資産の部		
株主資本		
資本金	498,707	498,707
資本剰余金	549,951	549,951
利益剰余金	2,505,397	2,649,033
自己株式	—	△220
株主資本合計	3,554,055	3,697,471
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,452	5,701
その他の包括利益累計額合計	7,452	5,701
純資産合計	3,561,507	3,703,172
負債純資産合計	4,359,385	4,533,057

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	4,241,066	4,846,735
売上原価	3,147,496	3,578,413
売上総利益	1,093,569	1,268,322
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	223,634	244,861
その他	514,199	669,087
販売費及び一般管理費合計	737,834	913,949
営業利益	355,735	354,373
営業外収益		
受取利息	53	48
受取配当金	419	447
受取地代家賃	34,665	34,747
保険解約返戻金	—	22,284
持分法による投資利益	863	—
その他	3,042	1,112
営業外収益合計	39,044	58,641
営業外費用		
支払利息	160	164
貸貸収入原価	16,617	15,255
持分法による投資損失	—	906
その他	10,834	48
営業外費用合計	27,613	16,373
経常利益	367,166	396,640
税金等調整前四半期純利益	367,166	396,640
法人税、住民税及び事業税	128,354	143,482
法人税等調整額	△938	△3,465
法人税等合計	127,416	140,016
四半期純利益	239,749	256,623
親会社株主に帰属する四半期純利益	239,749	256,623

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	239,749	256,623
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△783	△1,750
その他の包括利益合計	△783	△1,750
四半期包括利益	238,966	254,872
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	238,966	254,872

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。